

2022 年度多元系化合物・太陽電池研究会 年末講演会のご案内

“Workshop on Ternary and Multinary Compounds 2022”

主催：応用物理学会 多元系化合物・太陽電池研究会 <http://annex.jsap.or.jp/tmc/>

日時：令和4年12月16日（金）13:30~18:30、12月17日（土）9:30~12:00

開催場所：県電ホール（宮崎県宮崎市 宮崎県企業局庁舎1階）

発表形式：口頭発表、ポスター発表

現地実行委員長：宮崎大学 工学部 准教授 永岡 章

趣旨： 応用物理学会「多元系化合物・太陽電池研究会」では毎年、招待講演および一般講演（口頭発表およびポスター発表）からなる年末講演会を行ってきました。過去2年間は、COVID19の影響でオンライン開催でしたが、対面で情報や意見の交換を行うことは重要であり、今回宮崎で開催する事となりました。

一般講演においては、例年のように多元系化合物太陽電池および関連材料、発光材料・酸化物・磁性体・熱電材料などの分野も含めて、多元化合物に関する広い範囲の内容を対象としています。

本研究会は学生や若手研究者の育成をはじめ、研究機関を超えた研究者の交流に積極的に取り組んでいます。CIGS、CZTS、CTS 系などの化合物太陽電池の開発研究における人材育成では広く知られており、多元系材料の研究成果の深い議論や研究を始めるための情報収集には絶好の研究会です。さらに、本年末講演会で発表された研究成果は、「査読付き論文」としてJ-stageで公開され、論文1編ごとにDOI番号も付与されます。特に学生が自身の研究成果を学術論文として公開する良い機会となります。

多元系化合物の基礎と応用にご興味のある方は是非ともご参加していただき、この機会に本研究会へご入会の程、よろしくお願い申し上げます。

特別講演：

和田 隆博 氏（龍谷大）「新材料を求めて since 1978」

招待講演：

鈴木 一誓 氏（東北大）「n型SnSの作製とホモ接合太陽電池への展開」

木村 耕治 氏（名工大）「最先端放射光X線技術で解き明かすエネルギー変換材料の構造とダイナミクス」

参加費：研究会会員 1,000円（税込）、非会員 4,000円（税込、含研究会年会費）、学生 無料

意見交換会：12月16日（金）19:30~21:00 宮崎観光ホテル 一木一草 会費 5000円

参加申込：下記、および本研究会サイトにてご確認ください。<https://annex.jsap.or.jp/tmc/gyoji/2022/index.html>

	締切日	申し込みサイト
講演申し込み	2022年11月25日	https://forms.gle/WS1edZ3A1ckSCC3u6
参加申し込み	2022年12月2日	https://forms.gle/AwSvronWU2oTGpfL7
予稿原稿提出	2022年12月9日	講演申し込み者に個別にお知らせします

※当日参加も可能ですが、事前に参加申し込みをお願いします。

世話人：永岡 章（宮崎大学）、野瀬 嘉太郎（京都大学）、杉山 睦（東京理科大学）

問い合わせ先：永岡 章 (nagaoka.akira.m0@cc.miyazaki-u.ac.jp)